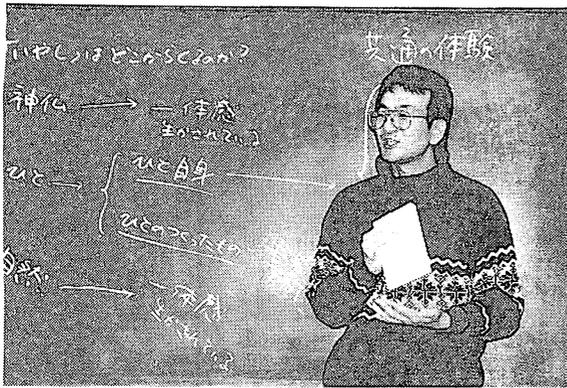


# サロンのあべの

VOL.154



## 仲間による癒し

サロン・あべの3月の出会い  
 99年3月20日(土)、午後1  
 時から、育徳コミュニティセン  
 ター2階研修室において、サロ  
 ン・あべの3月の出会いを開催  
 しました。

今回のパネラーは、上智大学  
 文学部社会福祉学科助教授の、  
 岡知史さん。テーマは、「仲間  
 による癒し」でした。

### 「癒し」に似た言葉

「癒し」「癒す」に似た言葉に、  
 「治す」があります。さらに似  
 た言葉を考えていくと、「慰む」  
 「和らぐ」「治す」「癒える」  
 という四つの言葉が浮かんでき  
 ます。それぞれ回復を意味する  
 言葉ですが、そのレベルが少し  
 ずつ違います。「慰む」「和ら  
 ぐ」の順に効果が大きくなるも  
 のの、完全な回復とは言えませ  
 ん。そして、元どりの状態に  
 まで回復させるのが「治る」で  
 す。それに対して「癒える」に  
 は、元どり以上の状態にする、

プラスアルファが感じられます。  
 「癒し」は、人間の内面から  
 の「癒える」力と外からの「癒  
 す」力が一体化したものです。  
 しかし、自らの意思で「癒され  
 る」ことはできないのです。

### 仲間による癒し

「癒し」を与えてくれる人を、  
 選択性と距離の違いから分類し  
 てみましょう。

遠くにおいても、選ぶことがで  
 きる「癒し人(医者・カウンセ  
 ラー等)」。近くにおいて、選べ  
 る「友」。近くにはいるが、選  
 べない「身内」。遠くにおいて、  
 選べない「仲間」。この四つに  
 分類ができます。

ここでいう「仲間」とは、共  
 通の体験をもつ人たちのことで、  
 アルコール依存症などの、当事  
 者たちのことです。同じ体験、  
 同じ思いをしている人が、自分  
 以外にも存在する。それを知る  
 ことが重要です。必ずしもグル

ープのメンバーだけを指すので 「仲間による癒し」は、岡さ  
はなく、まだ会っていないなくても、んの研究テーマである、セルフ アンが大集合でした。岡さんに とどまらず、この日の感想や、  
共通の体験をもつ人なら、「仲 ヘルプグループに通じています。 会いたくて参加をされた方も、 んを中心に話しが弾みました。  
間」と呼べるのです。 自己紹介と感想 多くおられました。自己紹介に 参加者28名。(上平幸雄)

〈サロン・あへの〉って 原田 仁

出合いでも同じことを言ったので申し訳  
ないのですが、どうも私は「癒し」という  
ことばになじめないのです。ことばの発音  
や文字のイメージが、なにか暗いというか、  
弱々しいというか。でも、感覚として「癒  
される」ということはわからないではなか  
った。それが、「《直す・治す》は元通り、  
《癒す》は元より良くする」という岡さん  
の説明で、一気に解決したのでした。

そうやって考え直してみると、思い当た  
ることはいろいろあります。まず、なぜサ  
ロンに参加するのか。あまり出席率のよく  
ない私(すみません)ですが、実は仕事や  
らなにやらで忙しく、サロンなんか(ま  
たまた、すみません)行っている場合では  
ないときほど行きたくなるのです。これは

逃避ではなく、参加することによって何か  
エネルギーが大きくなるような気がする。  
私にとってサロンはそんな場なのです。た  
だ、それは(大変申し訳ないのですが)パ  
ネラーのお話を聞いたからということでは  
ない。その後の参加者との会話のなかで、  
共感したり、自分で考え直してみたりする  
ことが私にとっての「癒し」であり、エネ  
ルギーを高めているのです。

最近、新聞や雑誌にのったり、本が出た  
りしたのでご存知の方もいらっしゃるかと  
思います。私が住んでいるまちの近くに  
「アトム共同保育所」という無認可の保育  
所があります。そこは無認可であるがゆえ  
余計に、良くも悪くもいろいろな保育者が  
いて、親が集まっています。だから考え方  
もいろいろで、そのためのトラブルも少な  
くないのですが、そこで行われていること  
は、「私」という主語で語る(自己紹介

の連続)ということと、そのなかで自分自  
身を確認し、自分とは違う他人を受け入れ  
る。できないことを認め合うというこ  
となのです。私はこの保育所に直接お世話  
になっただけではないのですが、保育  
所が中心となった集いに参加するなかで、  
この「大人が育つ保育園」のやり方が「癒  
し」となっているのです。

サロンに求めるものはなにか。「情  
報」「知識」、それもありますが、「私に  
とって」いちばん大きいのはやっぱり「共  
感」です。どんなサロンにしていくのか、  
ゆっくりお話ししたいものです。(それなら  
もっと参加しろって。はい気をつけます。)  
ところどころですが「癒し」というこ  
とばのイメージ、なんとかありませんかね。  
(アトム共同保育所のこと、アトム共同  
保育所編「大人が育つ保育園」ひとなる  
書房刊を参考にさせていただきました)

## ピア・カウンセリングを考える

—ありのままの自分を受け入れ、  
生き生きした生活を送るために—



伊藤智佳子

カウンセリングについて、わが国への導入過程、わが国におけるピア・カウンセリングの現状などを私なりに整理した。この作業を通じて、確認できたことをまとめておきたい。

それは、自立生活センターなどで考えられ、行われているピア・カウンセリングには、情報提供の側面と心理面への援助の側面があるということである。情報提供の中には、介助者集めの技術の伝達や介助者との人間関係の構築の方法の伝達、年金、生活保護受給などに関しての行政とのやりとりの方法の伝達、住宅探しや住宅改造などについての方法の伝達などが含まれる。こういった情報の伝達については、障害をもっていない援助者でも可能である。にもかかわらず、ピア・カウンセリングの機能として情報提供が含まれているかという理由は、すでに地域で「自立生活」を送る先輩障害者が、自分自身が実際に体験してきたことを後輩障害者に伝える、つまり、経験に基づく知見を伝えることこそが、実際に体験していない非障害者の専門家・援助者による伝達よりも、本当の意味で障害をも

つ人たちが必要とするものを伝達できるということであろう。障害をもっていない専門家・援助者が情報提供をすることよりも、実際にすでに体験してきた先輩障害者の情報提供の方が、地域での「自立生活」実現・継続を望む後輩障害者にとって、より役に立つであろうという考えに、筆者は異論を唱えるつもりはない。しかし、ピア・カウンセリングの機能の中に、あえて情報提供を含むということについては検討しなければいけないのではないかと考えている。というのは、情報提供は「ピア・サポート」の機能の中に含まれるものであるのではないかと常々考えているからである。情報提供をピア・カウンセリングの機能として含むということであれば、カウンセリングの技術をそれほど身につけていない人たちがピア・カウンセラーとして活動することにもなりかねない。情報提供としての側面をピア・カウンセリングの機能として全面に出し続けるのであれば、たとえば、住宅改造を望む障害者に対して、非障害者の専門家・援助者が、既に住宅改造を試みた先輩障害者を紹介し、先輩障害者から住

前号(VOL. 153)では、ピア・カウンセリングにおけるカウンセラーとカウンセラーの役割交代の具体的な意味づけについて整理した。今回は、ピア・カウンセリングの現状をまとめる作業を通して確認できたことについて若干の整理を試みたい。

【わが国におけるピア・カウンセリングの現状から確認できたこと①】

昨年(1998年)の4月から、ピア・

宅改造を望む障害者に対してアドバイスをしたことだけでピア・カウンセリングを行ったということになる。問題としたいことは、情報提供の機能をピア・カウンセリングに含むということが、悪くすると情報提

## ★信じて眠る

このところ、夜、床に入って眠るときに、いい気分がしない。「ああ、嫌だなあ」と、ひとりごとを言っただけで目をつぶる。一日の終わりの疲れを心地良いものとして歌ったのは啄木だっただろうかと毎夜のように思い出すが、今日もまた確かめることができなかった。心地良い疲れの代わりに私を感じているのは何だろう。枕に顔をうずめても、苛立ちが手足の先まで伸びていくように、何度も寝返りをうってしまふ。そして夜半に思い浮かんだのは「一日一生」という言葉だ。明治時代の誰かが書いていた。どういう意味なのだろう。一日を一生のように送れということか。

供をしていれば、ピア・カウンセリングを行ったことになる、つまり、本来障害をもつ人たちが目指してきた方向とは全く違った方向でピア・カウンセリングがとらえられ、活動が進められていくことになりかね

一日が一生であるとしたら、眠れないいまは一生の終わりのときだ。いたい、今日いちにちはどう過ごしたのだろう。だからだと、ただ時を過ごしてしまっただけではないか。もっと充実した一日を送れたはずではなかったか。そういう思いが私を眠れなくしている。

一日が終わり、床に入って静かに目を閉じるとき、私たちは短い眠りにつく。それはやがてくる永い眠りの、小さな小さな予行演習のようなものなのだろう。

私が、いま過ごしたばかりの小さな一日を悔い、眠れぬ夜を過ごすなら、いつか、明けることのない夜に入ると

ないということである。情報提供をピア・カウンセリングの機能の中にも含むのかどうかについては少し検討する必要があるように思われる。



きにも安らかに眠れないにちがいない。ありふれた言いかただが、小さな一日

が積み重なって長い一生になるのだから。

どんなに悔いた一日でも、夜がくればいつのまにやら眠ってしまうのは、心のどこかで明日がくると信じているからだ。いま眠っても、やがて目が覚める。疲れた身体のまま横たわっても、朝がくれば力がよみがえる。そう信じているのである。

しかし、これを繰り返した最後の眠

りには目覚めがない。そのときには何かを信じて眠りにつくしかない。そうしなければ、文字どおり死んでも死にきれない思いになるだろう。では何を信じるのか。自分の事業を誰かが受け継いでくれることを信じるのか。自分の血筋を子孫が残してくれることか。自分の生涯を誰かが覚えてくれることだろうか。どれも安心して信じられるほどのものではない。

一日が終わる夜に、また目覚めることを信じて安らかなになれる人は幸せだ。もっとも不幸せな人々と、もっとも満ち足りたときを過ごした人は、そのまま目覚めないことを望むだろう。私たちの大多数は、その中ほどにいるために再び目覚めることを望んでいる、その望みが断たれる朝がくるまで。

イースターの日 (知)

## 植物あれこれ

### 第三回

### 山口康二郎

—園芸療法(1)— 根を切っちゃたあ

ばしばです。

定年後好き勝手に生きている私が今最も楽しんでいることに知的障害者授産施設での週一回の「園芸療法」があります。平均年齢が四〇歳ぐらいの方たちなので園芸作業をしながら時にはナツメロの大合唱になったり、昔のギャグを言って笑いころげたりで時間の経つのを忘れてしまうこともし

「園芸療法」という言葉は最近ようやく

知られるようになりましたが一口に申せば『癒し』です。「園芸活動を通して人の精神や身体の働きをプラス方向に導く」と考えて行なうものです。理屈っぽい話は抜きにして、今回から二〜三回にわたり、エピソードを交えながら一年間の実践を書いてみたいと思います。

メンバーの一人Nさんはいわゆる場面緩

黙症気味の方です。皆がペランタで活動を始めると部屋のガラス越しにそれを眺めているという状態で、「Nさん、やろう」と声をかけるまでジーツと立ち続けていました。二カ月ほど経った時ハッと気がつくとなんさんはまったく皆の中で作業をしているではありませんか。それ以後のNさんは特別な配慮なしに皆の輪の中で作業が出来るようになり、表情も生き生きしてきました。言葉は少ないながら返事などはびっくりするぐらいの声が出てきました。

その頃からNさんは家に帰ると園芸活動

についていろいろ家族の人に話しはじめたことが連絡ノートでくわしく知らされました。

Nさん：「うち、花とか土とかさわるの好きやもん。気持すーとすんねん」

文字通り「園芸療法」の真髄をついた言葉をNさんから教えられました。



十一月の区民祭に参加してますます興味が増したメンバーの皆さんに、冬の楽しみが水栽培を考え、ペットボトルを利用した容器にヒヤシンスの球根を一人一鉢ずつ育てることにしました。このねらいは植物にとっていかに根が大切かを知ってもらうためと白い美しい根を鑑賞してもらうため

した。

が、とんでもないハプニングが起こりました。Nさんの球根が一番早く根を出し、Nさんは朝晩にこにことそれを眺めていました。他の人より早い成長を楽しんでいるものと、皆Nさんの行動をほほえましく見守っていました。

ところがところがある日、Nさんはその長い根を鋏でチョコキン！

——皆の根より長すぎ、しんどそう——  
Nさんのやさしい心のなせるわざでした。幸いにも切った根は二、三本。ヒヤシンスは見事に咲きました。

個性を大切に！

間違った平等主義反対！（反省をこめて）

## 感謝

はがき、切手、著書、お茶菓子バザー用品等の寄贈、またサロングッズのお買上げありがとうございます

安達尚子、網屋康子、大西暉子、

大西尚子、岡 知史、國井由起子、

杉山篤枝、曾根利弘、高橋順子、

田村昌子、表谷恵美子、宝示愛子、

山口豊子、吉原和朗、その他の方々、

## 目から鱗

山口康二郎先生のエッセーを拝見して、私は八十四歳になるまで世の中の事を漠然と覚え、漠然と口にして来たことを恥じました。

この生物の定義の様にたった数行で足る確固不動なもの、即ち学問のすばらしさに瞠目いたしました。

これを拝見してから非常に頭脳が爽やかになった様です。なぜだか解りませんが解らないのが解った喜びでしょうか？

編集の人に感謝しています。

(井上きみ子)



## 美智子のこんな話

岸田美智子

社協のホームヘルパーの時間帯が  
延びましたヨ

私たち重度障害者の地域での生活を支えていくためには、なくてはならない制度であるホームヘルパー制度が、朝7時から夜9時までに延長されました。

今までは朝8時10分から夕方6時まででした。この時間帯では、朝の通院や夜の風呂などにヘルパーさんに来てもらいたくても時間が当てはまらず、使い辛い問題がありました。特にお風呂は、私の場合も必ず2人の介護者が必要で、その調整にいつ

も四苦八苦していました。自宅でのお風呂介護は、一日の疲れをとったり、体の調子を整えたりするためには、なくてはならない介護です。日本の住宅事情はまだまだ悪く、障害者に使いやすいお風呂がほとんどなく、銭湯に行くか訪問入浴で湯舟を自宅に持ち込んで、看護婦などが付き添って入る大掛かりなものになってしまっています。だから、お風呂に入らずに、がまんしてしまう人も多いようです。

私の住む住吉区ではこの3月から朝7時からの起床介護や、朝食の準備食事介護、トイレ介護などをさっそくお願いしています。利用者のプライバシーの問題があり、同じ区内の人がヘルパーに来ることはないのです。ヘルパーの皆さんは早朝出勤が大変なようです。そしてこの4月からは、夜のお風呂介護もお願いしています。

このように利用者の地域での自立生活を支えていく制度としてよくなっているってほしいと思いますが、ヘルパーさんの勤務状態も改善していかなければならない問題が出てきています。例えば、今回のように時間延長は実現しましたが、ヘルパーさんた

ちの休養場所であり待機場所であるヘルプセンターは、朝9時から夜5時までの従来通りの開館時間だそうです。このような状況では、早朝や夜など利用者からの急なキャンセルや、逆にヘルパーさんが急用や急病の時など、どうして連絡を取りあったりキャンセルに対応していくのか、という大きな問題が出てきます。ヘルパーさんたちも大変不安を抱かえながら働いているようです。一応ヘルプセンターが開館している以外の時間帯は、所長などの携帯電話などに連絡することになっているようですが、このような対応で今後24時間派遣などを実施するためには、ヘルプセンターの開館時間の延長も、ぜひ必要になってくるのではないのでしょうか。

なお、このような問題は大阪市の方に私たちからも訴えたりしているのですが、人件費の問題で実施できないそうです。やはりここでも、お金の問題になってくるのですね。私たちの声をもっと大きくしていかねければならないのでしょうか、お金の使い方の問題だと思わんですが、皆さんはどう思われますか？



### 奥田真祐美

### 99 魅惑のシャンソン

さわやかな5月の風にのせて

日 時=5月22日(土)  
 開場17時30分、開演18時  
 会 場=森ノ宮ピロティホール  
 出 演=奥田真祐美  
 さとう宗幸  
 谷 崎 翔子  
 曲 目=・クスノキのうた  
 ・理由もなく  
 ・さとうきび畑  
 ・ロレットに歌う  
 ・愛の賛歌 他  
 演 奏=石田 美智代とM-clef  
 演 出=内海 重典  
 入場料=前売¥4800.  
 当日¥5500.  
 (全自由席)  
 主 催=大阪市勤労福祉文化協会  
 お問い合わせ先:  
 TEL・FAX 06-6692-8774  
 (奥田真祐美音楽事務所)

「サロン・あべの153号」  
 ご送付いただきまして、ありが  
 とうございます。  
 『もののけ姫』は見えていま  
 せんが、現代の人々に何か大きな  
 ものを訴えかける作品なのでし  
 よう。  
 それにしても『消えるメ  
 ダカの学校』とは、本当に私自  
 身のいのちの一部を失う寂しさ

### 大切な生命

を感じます。  
 今号全体を通してもつくづく  
 感じますことは、大きな一つの  
 生命を、私達はそれぞれの生命  
 に分け合って共に生きていると  
 いうことです。  
 他人に対しても出来る限り自  
 分だと思つて大切に接してい  
 たいと感じています。  
 (阪井健二)

### 朗読テープのご案内

朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、  
 Aサロン・あべのV紙一五三号の録音テ  
 ープ(六〇分)が出来ました。

### 朗読テープ文庫

1. Aサロン・あべのV紙は、第一号よ  
 り一五三号までそろっています。(五〇  
 号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、  
 一〇〇号は、一二〇分テープ二本)
2. Aサロン・あべのV十周年記念誌  
 「はあとが、はろー!」(九〇分テー  
 プ二本+一二〇分テープに収録)
3. 絵本「未知の記憶」(作:絵:中川勝彦)
4. 「ラジオたんぱ」放送「Aサロン・  
 あべのV平成七年五月の出会い」放送分  
 (二〇分)
5. エッセー集「逃げたクヨナク」ボラ  
 ンティア活動の周辺」(岡本栄一著・  
 糸でんわ音訳)
6. 「キミたちだけじゃ困るんだ」身障  
 者だけで旅した十余年」(山田誠1995  
 ・22著・糸でんわ音訳)
7. 「金子みすゞへの旅」(島田陽子著  
 九〇分テープ二本・糸でんわ音訳)

いずれもご希望の方には、ダビング、ま  
 たは貸出しをしますので、富田までお申し  
 出ください。(☎06-6691-1028)

春の装い

先般、私は教育委員会から講演を依頼されて和歌山県の広川町まで車で行った。

大阪から二時間ほど高速を走り、阪和道の広川インターで降りた。そのあたりは四方八方が山で囲まれ、眼の前に田園風景が広がっていた。新緑にはまだ少し早いようだったが、それでもどの山も萌えるような若草色になり、随所にピンク色の花が目についた。よく見ると、山桜である。山桜といえは高尚でエレガント（優雅）のイメージを連想させ、その上に容姿といい色香といい、申し分のない花である。そしてこの山桜もそんなに長くは咲かないが、散りざわも誠に潔いといわれている。こうした美しい山桜に見とれていると、車はいつのまにやら

晴れのち晴れ

⑦

稲垣 恵雄

国道四十二号線を走っていた。国道といっても道幅が狭く、走っても走ってもすれ違ふ車も追いついて行く車も殆どなく、どこを見わたしても人の姿はむろん、猫の子一匹もいなかった。真つ昼間からしーんと静まり返っていて不気味ですらあった。だが時折り、車窓から入ってくるそよ風は肌に快く、陽光は明るくて柔らかく感じられ正に『長閑』そのものだった。会場の広川町公民館には、百人ほどの人たちが来られていたが、どの人もまるで春の陽さしのように温かくて純朴さが伺えた。司会者が講師の紹介をして下さると、私は講演を始めたが、言葉が不自由で拙い話にもかかわらずどの人も耳を傾けて熱心に聞いてくれたのが何よりうれしかった。

グッズ3兄弟

好評

絵はがき

5枚1組 ¥180

大人気

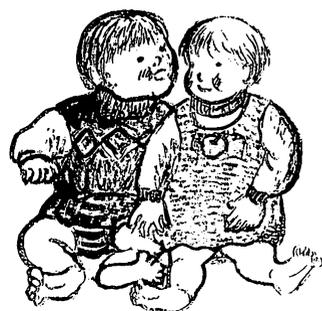
一筆箋

1冊100枚綴 ¥150

定番

かるた

¥150



サロン・あべの

98

☆平成一〇年度活動テーマ「癒し」

月・日・曜日	会場	毎月の出会い
98年 4・18・土	育徳コミュニティーセン ター2階研修室	「色による心の癒し」〜色と五感を使って〜 パネラー   福永享子氏 (Making Color 色彩研究所主宰) アシスタント   米田桂子・西浦千秋氏
5・16・土	育徳コミュニティーセン ター2階研修室	「盲導犬とのふれあい」 パネラー   山本美恵子氏 (市盲協) & 盲導犬「KEI TO」
6・20・土	育徳コミュニティーセン ター2階会議室	「草木に習うこと」 パネラー   山口康二郎氏 (日本園芸協会会員・樹医・家庭園芸士)
7・18・土	育徳コミュニティーセン ター2階研修室	「介護保険制度とは…」 パネラー   石井順一氏 (永寿福祉会 施設長)
8・2・日	工芸高校校庭	あべのカーニバルなんでも市通り「さろん亭」開店
9・19・土	育徳コミュニティーセン ター2階研修室	「『癒し』について考える」 参加者全員によるフリートーク
10・17・土	茨木市大住町	「大阪府立介護実習・普及センター」見学



11・21・土	育徳コミュニティセン ター2階研修室	「かおりの美学」 パネラー  河合恵子氏
12・4・土	育徳会館3階 幸分ホール	「オカリナ・腹話術ジョイントライブ」 ゲスト  腹話術:喜瀬常和氏 オカリナ:和唐直樹氏(オカリナ工房エル・ミガロ主宰)
99年 1・16・土	ハイパシシ3F中華 料理「杯杯」	「やさしい出会いを求めて いつでもサロンは新しい」 新年昼食会・福袋
2・20・土	育徳コミュニティセン ター2階研修室	ビデオ鑑賞「もののけ姫」 ビデオプロジェクト使用
3・20・土	育徳コミュニティセン ター2階研修室	「仲間による癒し」 パネラー  岡 知史氏(上智大学文学部社会福祉学科助教授)

◎ その他の活動

- ハサロン・あべのV紙毎月第3土曜日発行
- ハサロン・あべのV紙、毎月朗読テープ作成(朗読V・Gほけつと)16名へ送付
- さろん文庫開設||毎週金曜日午後1~4時(阿倍野区在宅サーピスセンター・ビューロ室)
- さろん文庫本、朗読テープ作成(朗読V・G糸でんわ)
- 毎月の広報活動:アベノ・タウン紙、朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、読売新聞、他
- 海外文通:アメリカPat ti Truck y、イギリスMargaret Bowler、  
韓国||馬 泰植、ドイツBrigitte Ehrenberg、
- 平成10年度大阪市ボランティア活動振興基金助成金交付を受ける
- サロングッズ制作と販売
- △ サロン・あべのV10周年記念誌「はあとが、はろー!」、絵葉書「風景・花だより」  
絵葉書「わがまち阿倍野」3シリーズ、一筆箋、阿倍野いろはがらた、など

問題が解決される来年度には最新型を買って、インターネットを通じて全世界の障害者と、より迅速で具体的な情報を分かち合うことができるように外国語の勉強に拍車をかけています。コンピューター情報処理技能士の資格を持つ長男（15歳）に、コンピューター運用能力をもっと伸ばすように勧めています。なおかつ、いつもそばで宿題（英語）を助けながらわかやすく理解できるよう努めています。次男（11歳）は漢文の塾に通っているのですが、たくさんの文字を知るようになっています。普通、学生は漢文の塾にほとんど通

いません。妻が芸能の方面を重視して、幼いときからピアノの塾に通わせ基本的な感覚を身につけさせたおかげで、子供たちの音楽学習能力やコンピューターの勉強に役立っています。でも私は音痴なのでうまく歌えませんが。富田様は歌がお上手でしょう。

では、季節の変わり目なので、お身体に気をつけてご無事をお祈りします。

お母様にもよろしくお伝えください。

1999. 3. 14 馬 泰 植  
(訳・出口美和)

## ささみみずさん

さろん文庫

「さろん文庫」を覚えてくださっていますか。あべのポランティア・ビューロー室で、毎週金曜の午後に「さろん文庫」を開いています。サロンへ寄せられた本や、サロン紙の一号から合本などがあります。冊数としては少ないですが、種類としては幅のある本棚です。なにより良いのが、静かなお部屋。一人で本の番をしているのはもったいない時間です。本の貸し出しに関係なく、お話をしに来てくださいることを望んでいます。

ポランティアに関する情報や案内冊子も置かれています。先日、そこでラジオ番組案内の点字冊子を見ました。郵便局の利

用案内や区社協の新聞が点字になってるのはこれまでも見ていましたが、ラジオ番組点字案内も冊子になっていたのでですね。これらは必要な人の手に届いているのかしらと思いつつながら白い紙面をながめていました。

ちなみにそのラジオ局の問い合わせ先を記しておきます。

● 毎日放送ラジオ点字番組表

TEL 〇六―六三三九―一―二三(代)

(ラジオ局編成部)

● ABCラジオ点字プログラム

TEL 〇六―六四四八―五三二―

(ラジオ編成業務部)

そして、

● NHK

TEL 〇六―六九四一―〇四三二―

(NHK視聴者センター)

もあることを知りました。(け)





サロン隣組ニュース

会費 ; 無料

問い合わせ先 ; 鈴木 昭二

TEL・FAX 06-6340-3082

■「サロン淀川」5月の出会い

日時 ; 平成11年5月16日(日)  
午後1時30分~午後4時

場所 ; 「やすらぎ」  
[大阪市淀川区三国本町2-14-3]

内容 ; 「人間ってええなあ〜」  
視覚障害を乗り越え、歌手として活躍するマルチかあちゃん  
の歌声を聴いてください。

パネラー : 戸 梶 賀 世 子 氏

会費 ; なし

問い合わせ先 ; 淀川区社協 ボランティア・ビューロー  
TEL 06-6394-2900

■「ウイズ東淀川」5月の出会い

日時 ; 平成11年5月 9日(日)  
午後1時30分~4時

場所 ; 東淀川区民会館4階会議室  
[大阪市東淀川区東淡路1-4-53]

内容 ; 「失語症って、何？」  
(楽しいおしゃべりは、お互いを理解することから)

パネラー ; 杉 本 明 子 氏  
尼崎厚生会立花病院言語室勤務  
三田市デイサービス集団言語訓練「おしゃべり教室」担当

■「サロンいたみ」5月の出会い

5月の出会いは休みます。

お 知 ら せ

サロン・あべの5月の出会い

日時 5月15日(土) 午後1時~4時  
場所 育徳コミュニティセンター研修室  
(阿倍野区阪南町5-15-28)

スロープ、車いすトイレ有り)

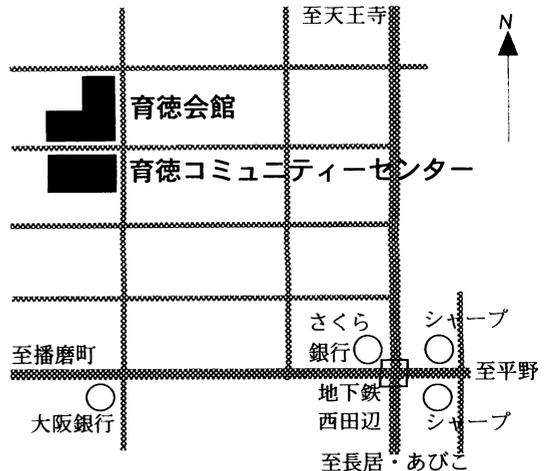
テーマ 「インターネット入門」  
- 出会いの扉を開こう! -

パネラー HeartLand サボタズ  
中西久雄氏

会費 なし

お申し込み・お問い合わせ先

☎06(6691)1028 (富田慶子)



編集人 : サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの> Vol.154 [99.4.17.発行] 定価 ¥100

代表 : 山村貴司 〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺 5-1-18 ☎06-6691-9071

連絡先 : 富田慶子 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 6-3-26 ☎06-6691-1028

表題 : 井上憲一・筆 文中イラスト : 石田美禰子

郵便振替口座 : サロン・あべの 00950-9-26941

印刷 : セルフ社 〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町 4-23-2 ミスターDビル 2F ☎06-6719-8212

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)